

Pick Up Topics

オルガテック東京 2023



オルガテック東京について

オフィス家具メーカーをはじめとしたブランドやメーカーが、世界から120以上集まった展示会です。

1953年ドイツ・ケルンで始まったこの展示会は、昨年より東京で、年に1度実施されており、今年の展示空間は、昨年の約2倍に大きくなりました。

最先端の家具やデザインだけでなく、考え方や情報などがあふれた展示会となりました。

オルガテック東京 2023 テーマ

オルガテック東京 2023 のテーマは、“Sift Design デザインはワークスタイルを自由に”です。

新しいオフィスデザイン、プロダクトデザインは、ワークスタイルやワークプレイスに可能性を与え、イノベーションを創発する場所につながっていく、ということです。

働き方の多様性が高まる中、デザインがどのように寄与できるのかを体感できる展示会でした。

オフィスのサステナブル・リユース/リサイクル

多くの出展企業のテーマは、オフィス環境におけるサステナブルとリユース・リサイクルです。

廃材などを利用した家具の提案、組み換え可能で、何度もリユースできる家具等、廃棄物を減らすような工夫がいたるところでされています。

株式会社プラスは、MRS(マテリアルリバーシステム)という仕組みを持っており、オフィスからでた再利用できる家具などはオークションで市場に還元、リユースできない商品は素材別に分解し、新たな商品に生まれ変わります。

今回オルガテックで利用された、家具や造作展示物などのほとんども、プラスはMRSの仕組みでリサイクル/リユースを実施します。

出典 プラス株式会社

MRS: <https://kagu.plus.co.jp/solution/mrs/>

ベストプレゼンテーションアワード

「これからの働き方に対してデザインができること」を具現化したブースが表彰される、ベストプレゼンテーションアワードですが、今年はコクヨ株式会社が昨年に続き選ばれました。“全体コンセプト”“デザイン性”“機能性”“独自性”“サステナブル性”を基準にブースを審査されます。

コクヨブースは、“いっしょにつくろう。”をキーワードに、デジタルファブリケーション技術を活用したオリジナル内装空間、アート、家具作りのコクヨならではの取り組みが紹介されていました。

デジタルファブリケーション技術は、デジタル工作機を使用し、個々に作成した、デジタルデザインを、木材や様々な素材から切り出して生成する技術のことです。

コクヨブース内では、デジタル工作機の実機がデジタルデータをもとに、木材を切り出す展示がされていました。

最新のデジタル技術を利用しながら、環境に配慮したオフィス造りのヒントが多く見かけられました。

多様性を表見できる独自性デザインと、環境配慮の両立が求められる現在のオフィスにおけるトレンドが、各メーカーの得意な部分の掛け合わせで実現ができることを実感しました。

Issued by  ishimoto

石元商事株式会社
〒534-0027 大阪市都島区中野町 1-7-20
TEL: 06-6351-0471 / FAX: 06-6357-7471
HP: <https://www.ishimotosyouji.co.jp>
E-mail: info@ishimotosyouji.co.jp
発行責任者：石元 正之

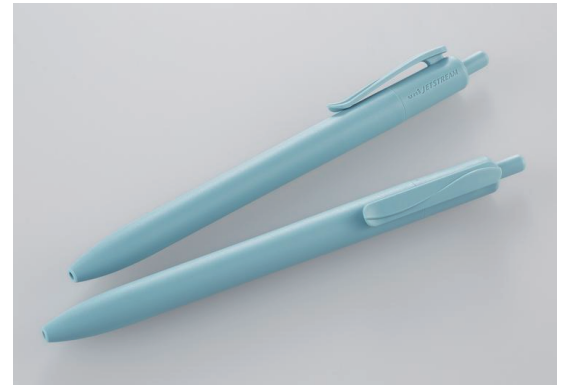


再生材比率ほぼ100%の軸材で環境に配慮したボールペン

文具業界で初めてエコマーク商品類型 No.164「海洋プラスチックごみを再生利用した製品」の認定を取得、環境に配慮したボールペンです。

商品本体の軸材の構成は、海洋プラスチックごみを使用した再生樹脂とコンタクトレンズの空ケースを使用した再生樹脂の、ほぼ 100%のポストコンシューマー材を採用した商品です。

マットな風合いが日常生活にもなじむ、ミニマルな軸デザインとなっています。また、「メビウスの輪」をイメージしたクリップ形状では、循環や再生を表現しております。



Office Furniture 【MOKURAL(モクラル)】

国産木材によるプロジェクト「MOKURAL」

プラス株式会社は、国産木材を積極的に活用するオフィス家具の新ブランド「MOKURAL (モクラル)」をスタートさせました。

第1弾として、清水慶太がデザインした国産の早生広葉樹センダンを使用した木金混合のオフィス家具「Vicenda (ヴィチェンダ)」シリーズがすでに発売されております。

間伐材を積極的に利用することは、エコロジーとエコノミー、両方につながっていきます。



IT/Network 【Acer Vero】

平均30%のPCR(再生プラスチック)を使用

Acer Vero シリーズのパソコンやモニターは、筐体に平均 30%の PCR (再生プラスチック) が使用しています。

Acer Vero シリーズの製品の特徴は

- ・環境負荷を考えたエコデザイン
- ・地球に優しいグリーンパッケージ
- ・エネルギー効率を可視化

など、2015年から日本エイサーはサステナブルな社会実現に挑戦を続けています。



Other Service 【カーボンオフセットプログラム】

対象製品購入で温室ガス削減に寄与

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、オフィス製品の原材料調達から製造、輸送、廃棄までの製品ライフサイクルを通じて、CO₂の排出量を正しく計算し、排出量と同等の排出権(クレジット)付きの製品をお客様に提供する「カーボンオフセットプログラム」が2022年1月からオカムラが始めています。

これによりお客さまは対象製品を購入することで、温室効果ガス削減活動に寄与することになります。

